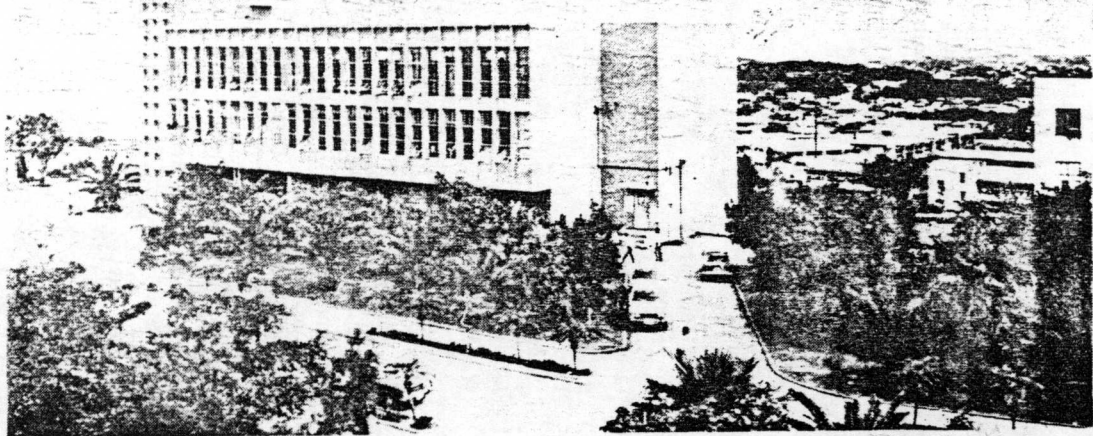


# びぶりお



VOL. 7 NO. 1 The University of the Ryukyus Library Bulletin 1973.4.10.

## 雑誌の利用について

新入生の皆さんのために、雑誌の利用について、少し書いてみたいと思います。

雑誌の整備ということは、特に大学図書館においては重要なことと考えられています。昨年度の琉大図書館の予算をみても、雑誌関係の予算は非常に大きく、継続購入雑誌費に千九百万円、バックナンバー購入費に2千万円を当てたのであるから、図書館資料費の総額9千八百万円の約40%を占めることになり、如何に雑誌の整備に大きなウェイトが置かれているかわかります。

当館の雑誌の保有タイトル数は、購入のもので和雑誌が512種、洋雑誌が528種、継続して寄贈を受けている雑誌が約1000種となっています。それでもまだ利用者の要求を満たすに至っていないのが実情で、予算を増額し購入種類ををもっと増やしたいというのが利用者の強い要求です。

雑誌は学習、研究に重要な役割を果たしているものですが、私たちが雑誌論文に到達する手段に二次資料というのがあります。

例えば定期的に出ている月刊もので、国会図書館が発行している「雑誌記事索引」というのがあります。国立教育研究所から出

ている「教育索引」、琉球政府立法院図書室から出た「沖縄関係雑誌記事索引」といった索引誌があります。網羅的な文献目録になっていますから広範囲にわたって記事を探すことができます。

とう一つ大事なものに、雑誌の中に二次資料として何頁かを挿入して載せてあるものもあります。例えば「法律時報」には文献月報が収載されてあります。「経済評論」には経済学文献月報が収載され、又「都市問題」には都市問題関係雑誌記事索引が載っています。

当館の雑誌室ではカード索引をつくっています。参考調査係では入荷する全ての雑誌に目を通しますが、現在は主として郷土関係の雑誌記事索引をつくっています。又公害関係とか、その他必要と思われるものは、できるだけ作成するよう心がけています。雑誌室の入口の左側のカードケースにできるだけ注意して下さい。

とに角雑誌論文を学習、研究に役立てるには二次資料を使うことを知っておれば大へん助かります。

雑誌の館外貸出は原則として行っていません。ゼロックスによる複写利用ができますので、雑誌室カウンターの「複写資料貸出簿」に記入して複写室へ持ち出すことができます。

次の機会に公害関係の雑誌記事の探し方、即ち公害関係の二次資料について書いてみたいと思っています。

(参考調査係 野原敏弘)

## 郷土資料案内

沖縄返還を前後して、ここ数年采内外に沖縄に対する関心が、かつてない程に高まってきた。この傾向は政治に限らず、文学や歴史、民俗などあらゆる面にわたっており、従来沖縄偏見が

正当に認識されつつある事を示すものといえよう。

沖縄研究についても、諸分野で地道に調査や研究がすすめられて数多くの出版物が刊行され、まさに「沖縄研究ブーム」の感をかもしでている。

沖縄は今次大戦で貴重な資料を多く失い、戦後、郷土資料の収集は困難を極めた。琉大図書館は創設以来、可能な限り郷土資料の収集に努め、現在その数はおよそ8,600冊に達している。その中には沖縄研究に貢献した次のような諸先達の蔵書なども含まれ、利用者に多大な便宜を与えている。

伊波文庫 (伊波普猷)	161点
源七文庫 (島袋源七)	約100点
Bull文庫 (メソジスト教会宣教師)	約400点
宮良文庫 (八重山・宮良殿内)	約350点
仲原文庫 (仲原善忠)	約440点
宝令文庫 (ハワイ大学)複製本	

その他にも個人や機関での寄贈が数多くある。

ここで郷土資料とは、沖縄に関する記録資料や、民俗学的資料、視聴覚資料を指すのであるが、郷土の範囲としては、歴史的、地理的に深いかがわりあいのあった奄美群島をも準郷土地域として郷土資料と同等に扱っている。又視聴覚資料としては、若干のマライトとマイクロフィルムが2万二千余コマ收藏されている。

## 郷土資料の利用のしかた

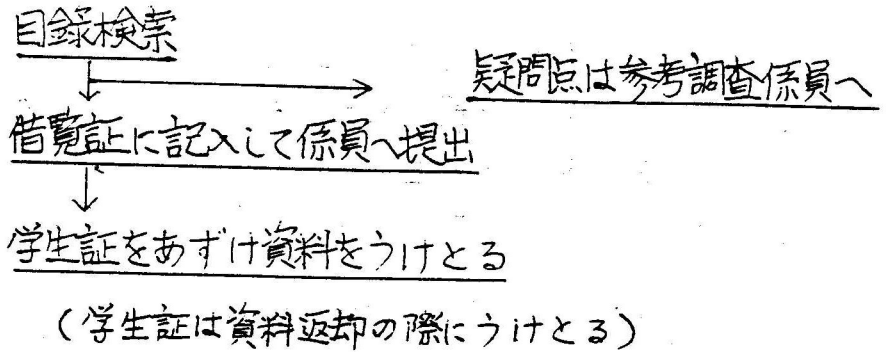
本館では郷土資料は最も重要な資料として、保管や取り扱いは細心の注意が払われている。そこで利用者にとって、次の事柄を心得ておかねばならない。

- 1) 郷土資料は閉架式である(利用者は書庫には入れない)
- 2) 館外への貸出は一切おこなわない。
- 3) 受付時間内に利用手続きを済ませること。

受付時間 { 平日 8:30~11:45  
13:00~16:45  
土曜日 8:30~12:15

## 1. 利用手続について

郷土資料は閉架式のため、利用者は次のような手続きが必要である。



なお借覧証には、下の例にならって記入する。

### 琉球大学附属図書館借覧証

1973年4月10日		法文学部 1年次XXXX番		氏名 山田太郎	
借覧号	著者名	書名	巻号	登録番号	印 月 日
31 H33	比嘉春潮	新稿 沖縄の歴史			



## 2. 郷土資料の目録について

郷土資料目録には次の2種がある。

- (イ) 冊子目録——カウンターに備えつけられており、1965年6月までに受け入れられた分を収録、又利用者の便宜を計って「東恩納文庫所蔵の資料」も収録してある。
- (ロ) カード目録——参考図書室にあり分類目録、著者名目録、書名目録、件名目録があり、いずれからも検索できる。

なお郷土資料の分類は「日本十進分類法新訂6A版」を基底にした「琉球郷土資料分類表」によるが、両者の相違点は冊子目録の「凡例」を参照のこと。その他郷土に関する質問は参考調査係員に相談されたい。

## 3. 資料収集についてのお願い

本館は郷土資料については、従来から細大を漏さず収集することをたてまえとしているが、予算や人員の不足により収集活動は十分とはいえない。他方利用者は年々増加の一途をたどり、例えば昭和46学年度について述べると利用冊数が7,348冊にも達し4年前の2.5倍にもなっている。このように利用度は増え、しかも多方面の分野にわたっての要求があるにもかかわらず、それに満足に充てられないのが現状である。このような状況なので、利用者各位にお願いしたいことは、沖縄に関する古い文献はもちろんのこと、現今発行されているサークル機関誌や雑誌、パンフレットなど、あらゆる沖縄関係の資料の存在や入手方法にじあたりのある方は図書館に連絡していただければ幸いです。又郷土資料の利用についてはその重要性ばかりがみ、丁寧な取り

扱いをするようお願いいたします。

(閲覧係御土資料担当 大城 康洋)

## 医学図書分類余話

保健学部では保健学、衛生学、医学を中心として、その周辺科学をも包含した広い領域にわたって研究し、教育することになっていきます。従って図書室では、それらの学問領域の図書を収集し、整理し、閲覧に供さなければなりません。私は職務の一端として、図書の分類を受けもっていますが、なにしろ未知の分野でありましたので、とまどいを感じました。分類法は National Library of Medicine Classification を用いていますが、分類作業中語句の解釈で思わぬミスを犯したり、文思いかけない意味があったりして困惑致しました。ここにその二三例を紹介してみましよう。

### 1. Labor 労働

産婦人科学の中に Labor という項がありますが、妊産婦の労働問題を扱っていることは誰の目にも明らかであります。ところがこの労働はちょっと変わっておりまして、NDCで言うところの366の労働問題ではありません。「分娩」すなわちお産のことでありました。世の山の神様方にとって、お産が苛酷な重労働であることは万人の等しく認めるところであります。

### 2. Guinea - Pig ギニア豚

ギニアはアフリカ西部の共和国で、1958年にフランスの植民地

から独立して Ghana (ガーナ) と合邦したところであります。このギニアの豚が何故医学の研究に役立つのか、不思議でなりません。しからはわが球球豚も役立つ筈であります。ついに医学大辞典で確かめざるを得ませんでした。あにはからんや Guinea-Pig (ギニピグ) とは「モルモット」のことでした。モルモットは又の名を天竺ねずみと言っていますが、何故モルモットと呼ぶようになったかを前出の辞典によって見ますと「厳密に語原を考えると、モルモットという名は栗鼠斑のマルモット (Mar-mot) の混同誤用」とでていました。

### 3. Orthopedics 整形外科学

整形外科とは、親ゆずりの鼻に加立して高層化することと、ミルクタンクを拡張して人目につきやすくすることだとはかり思っていました。とんでもない誤解であります。整形外科学とは「英 orthopedics、独 Orthopädie、仏 orthopédie」骨および関節の形態異常(形、大きさ、方向、釣合い、機能障害)を予防、矯正することを主任務とする臨床医学で先天性奇形、後天性変形、骨折脱臼、骨関節の炎症または栄養障害、神経系統の麻痺などが通常その治療対象として取扱われる。Orthopädieなる名称は André (1741) の命名によるもので Ortho は正しくする、Pädie は小児の意であり、小児の肉体的奇形の予防と矯正に関する彼の業績に端を発している」(南山堂医学大辞典)ということです。この整形外科学中に含まれるものとして、Reconstructive orthopedics がありますが、再構成、再形成の意味ですから、矢われたものを元とおりにすることですから、大いに人助けになるというものでしょう。Reconstructionという言葉は、医学を学んだことのないものにどーでは語感が土木工事くさくてしーくりしません。この整形外科学は分類上は WE の筋、骨格系 (Musculoskeletal system) に含まれて

います。整形外科学の親類筋にあたるものとして、WO外科学の中に Plastic surgery 成形術、形成術があります。いわゆる隆鼻術とか豊胸術というものがこれに含まれていると思われれます。更にこの Plastic surgery の中には skin grafts、Tube grafts 等が含まれていますが、Graftsの語はもとと園芸用語であり、つぎ木の「つぎ穂」のことであり、つぎ木、つぎ木法などの意もある。医学では(1)組織移植(植皮、植肉などをいう)、(2)植接用片(皮ふ、筋肉、骨、骨膜、神経、または稀に全器官等を移植するときに用いる組織小片)の意であります。Transplantation は移植術と訳されていて同じ所に分類されます。

#### 4. Dyslexia 失読症、読書障害

この病気は読字不能 (Alexia) とも言い「認知不能症の一種で、大脳皮質障害による読書の障害をいう。眼 → 視覚領 → 読書中枢の道が障害されたときにくる。読書中枢は文字を文字として他のものから区別する中枢で、角回転下部にある。なお文字を理解するためには更に総合的な中枢を必要とする」(南山堂医学大辞典)

図書館職員として、このような病気があることを知った時は、かなからずショックであった。

#### 5. Transport 移送、運搬

さては交通工学、人間工学の分野が医学領域にまで入り込んで来たかと思いました。よく中の絵を調べて見ましたが、船やトラック、汽車などの絵はでてきませんでした。コンテンツを検討して見ましたら、向やら意味が解りかけてきました。

Cellular transport (細胞性移送) : Oxygen transport

(酸素運搬)の語を見つけたからです。Transportの語は医学では栄養素や酸素血漿などを細胞や器管等によって移送されることをさしているようです。

## 6. Appendix 付属物、付録、突起、虫垂

我々図書館人は、Appendixと出て来ると、すぐ付録と思う習性を持っています。虫垂という言葉を見ると盲腸の別名と思うのは医学知識がいくらある方で、一般的にはあまり知られていません。素人の知識と言うものは実にあやしいものであることが医学辞典をめくって見て思い知らされました。Appendixとは「虫垂」「虫様突起」と出ていて、説明は「盲腸下端の内側で3条の結腸ヒモが集合している部分に付着する細小な管腔性付属器で盲腸に連絡している。3条の結腸ヒモは互に融合して虫垂の従属筋となり輪状筋を包裏する」となっています。更に盲腸炎を調べて見ますと「Typhilitis - 人間における盲腸炎は独立疾患としての意味は少い大抵虫垂炎が蜂巣(窠)織炎性に波及した場合とか、回腸末端に始まった結核性病変がバウヒン弁を破壊して盲腸に広がる場合などにおいて問題が起って来る。俗に虫垂炎を盲腸炎といわれることもある。

(保健学部図書室 山田 勉)

## 《お知らせ》

### 1. 複写室が移動しました

複写室は図書館一階から比彦増築成った図書館西側プレハブに移動しました。図書の受入荷解室を通過して隣の部屋になっています。

2. 新しく二種のコピー機材が入りました。  
複写室に次のコピー機材が設置されました。

△ マイクロ・フィッシュ・カメラプロセサー  
(マイクロ・フィッシュによる文献複写業務を行います)

△ リーダー・プリンター  
(マイクロフィルム、マイクロフィッシュのリーダー機で、読みながらコピーもとれます)

当館ではかねてから文献複写サービスの充実に努めてきましたが、これで一層強化されることとなります。

3. 「公害関係新聞記事索引」が発行されました。

当館参考調査係では、3月に「公害関係新聞記事索引-沖縄タイムス・琉球新報-」第1号を発行しました。これは地元二紙「沖縄タイムス」「琉球新報」に掲載された公害に関する記事への索引(Index)であります。収録範囲は、沖縄で公害問題がクローズアップされてきて以来(だいたい1966年ごろ以後)1973年1月31日までに両紙に掲載された記事を対象にしております。内容の具体的な項目は次のとおりです。

1. 自然保護
  2. 公害一般
  3. 公害予防・対策
  4. 公害闘争
  5. 地域開発と公害
  6. 石油貯蔵基地
  7. アルミ企業問題
  8. パイロット訓練飛行場問題
  9. 海上汚染
  10. 大気汚染
  11. 水質汚濁
  12. 地盤沈下
  13. 騒音
  14. 基地公害
  15. 公害教育
  16. 公害に関する社説(沖縄タイムス・琉球新報)
- 「沖縄タイムス」「琉球新報」両紙とも創刊号以来から製本され



て当館に保存されておりますので、利用者は本索引を手がかりに直接新聞記事をごらんになればいいわけです。本誌は閲覧係・ウンター又は参考調査係に常備してありますのでご利用ください。  
・なお引きつづきオミ集の発行も準備中です。

(参考調査係 仲西 盛秀)

## 図書館事情

### △ 職員の研修

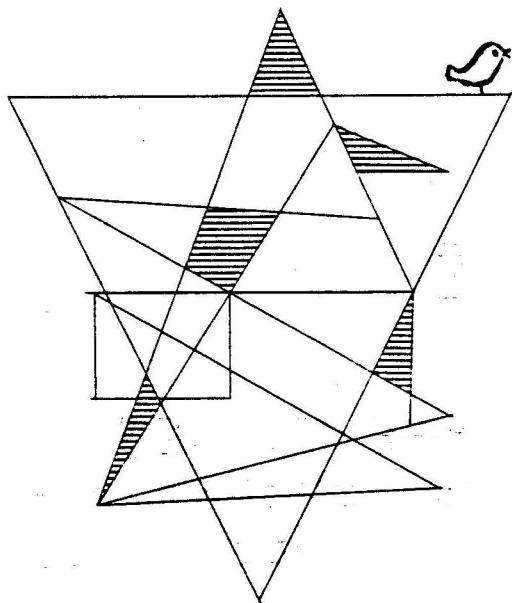
館長島村潤一、閲覧係長新城安善、保健学部図書室図書係長山田勉は図書館業務調査研究のために二年に分れて、九州地区国立大学の各図書館を2月25日から3月6日まで訪問した。

△ 国立国会図書館支部最高裁判所図書館から判例集及び裁判所関係の資料2,996冊本館に寄贈申出があり四月上旬に届く予定です。

△ 農学部教官有志の尽力並びに日本育種学会々長酒井寛一氏の厚意により育種学会よりバックナンバー217種類、4,480冊が3月2日に寄贈され、今後継続して寄贈されることになりました。

△ その他下記のとおり寄贈がありました。

- 1) 国立国会図書館支部建設省図書館 226冊  
 2) 宮崎勝弑氏 141冊



(訂正)

11頁「図書館事情」欄三番目の農学部教官有志とあるのは、  
 日本育種学会々員の先生方で、次の方々です。

教授	福島	栄	二
助教授	新城	長	有
講師	村山	盛	一
助手	石井	啓	豊

琉球大学附属図書館「びぶりお」オ7巻1号〔通号24号〕  
 1973年4月10日発行 編集兼発行人 平良 忠仁  
 沖縄県那覇市当蔵町3丁目1番地 Tel. 34-0101(内333)